

「稲城市医療計画」あるべき医療提供体制の実現に向けた取組状況について
(平成29年度)

I. 初期救急の充実、プライマリーケアの充実

今後の課題方向性	取組状況	
	目標	平成29年度 実績（進捗状況）
★時間外・夜間救急の充実 ★一次救急と二次救急の機能分化の推進 ★適切な救急医療情報の提供	電子母子手帳サービスでの啓発	電子母子手帳サービスを開始し、サイト画面に急な病気の際のアドバイス先（小児救急電話相談#8000）を掲載し案内。 登録数 672件
	子を持つ親への講演会、研修会の開催	講演会実施時に、適正受診に関する啓発普及を実施する。 母子保健関係講座（発達支援講座）25人 保健医療まつり444人、健康まつり94人、健康づくり関係講演会等63人（教室12人、こころ講演会44人、講座7人）
	「ひまわり」（東京都医療機関案内サービス）を活用した医療機関、診療科の案内及び「ひまわり」の普及啓発	●保健センター事業を掲載する「健康カレンダー」に「ひまわり」（東京都）の案内を掲載し、事業開催時に受診者全員へ配布する。 ●電子母子手帳サービスのトップページ及び在宅医療連携マップ（医師会）のトップページに掲載及びリンクを貼り周知する。 ●稲城市在宅医療・介護連携マップを作成する。

II. 二次救急の充実

今後の課題方向性	取組状況		
	目標	平成29年度 実績（進捗状況）	
★二次医療圏及び近隣地域で中等症の患者をカバーできる体制の構築支援 ★市内の医療機関と市消防本部（救急救命士等）との更なる連携強化 ★救急当直医等の医師負担軽減策	市立病院への不要不急な時間外夜間の軽症者の受診について市民への啓発	①広報掲載：平成29年11月15日号掲載 ②平成30年度市ホームページ掲載にむけ、健康課が案を作成し、市立病院及び保険年金課へ内容について意見を取りまとめている。 市ホームページ作成に取り組んだ	
	市立病院救急外来で市内小児科医協力による夜間診療の継続実施	小児夜間・休日診療の継続	継続して連携を図った。
	内科、整形外科、脳神経外科の機能充実の検討	医療計画を基に関係機関と協議を行う。	①救急を専門とした医師の採用による、救急受け入れ体制の強化について検討を始めた。また、稲城市職員定数条例の一部を改正し、内科等の医師を含めた市立病院の職員の定数の増を行った。 ②市立病院、医師会と引き続き情報交換を実施。
他県・他市自治体との包括連携協定等の締結による二次救急に対応する体制の構築	医師会との情報交換を実施し、医師会が実施している他県、他市との取り組みについて状況を把握する。	医師会と情報交換、意見交換実施予定。現状は、個々の病院では連携あり。今後、引き続き情報交換、意見交換を実施する。	

III. 回復期・慢性期病床の確保・充実

今後の課題方向性	取組状況	
	目標	平成29年度 実績（進捗状況）
★回復期・慢性期病床の確保・充実 ★在宅医療を担う市内の医療機関の後方支援の推進	●在宅医療・介護連携推進協議会の開催（年4回開催） ●市立病院改革プラン策定にあたり、市立病院における役割について検討する。	①在宅医療・介護連携推進協議会の開催（3回開催） ②研修検討部会の開催（3回開催） ③診療報酬改定を踏まえて、回復機能を持たせた病棟について検討した。 ④市内の医療機関の回復期病床の確保に向け、厚生労働省医政局及び東京都医療政策部へ意見申し立てし、協議をした。

IV. 診療科の充実（外来）

今後の課題方向性	取組状況	
	目標	平成29年度 実績（進捗状況）
★内科・小児科・耳鼻咽喉科・眼科・産婦人科・整形外科の充実	今後の区画整理時に医療機関誘致も含めた街づくりの検討等についての協議をする。	①小田良土地区画整理地内での医療機関の確保について、市街地整備課と連携した。引き続き連携していく。 ②小田良地区の開発事業者、医師会、歯科医師会へ情報提供を実施した。

V. 在宅医療の充実		
今後の課題方向性	取組状況	
	目標	平成29年度 実績（進捗状況）
★在宅療養後方支援の機能強化 ★市内の医療機関の在宅医療推進を支援 ★在宅医療に関する市民への普及啓発 ★訪問看護師の確保・育成・支援（中期～）	ICT等を活用した情報共有ツールの導入検討	医師会主催による導入 継続して試用中
	在宅医療支援病床確保事業の実施	事業の開始 稲城台病院、稲城わかばクリニックに各1床ずつ確保 実績：稼働率27.0%（2床合計）
	市民対象講演会等の実施	同左 市民向け講演会「自分で決めよう自分の最期」（平成30年1月21日） 広報いなぎに職種紹介コラム掲載（7月1日号、10月1日号、1月1日号）

VI. 認知症への対応		
今後の課題方向性	取組状況	
	目標	平成29年度 実績（進捗状況）
★認知症専門医やサポート医の充実 ★認知症疾患医療センターとの連携 ★認知症に対する相談機能の充実 ★認知症に関する関係機関との連携による本人及び家族への支援	認知症初期集中支援チームの設置	設置に向け関係機関と事業内容の検討 平成29年4月1日 稲城台病院に委託し、設置した
	身体的に合併症を有する認知症患者への対応強化	稲城市立病院改革プラン策定にあたり、対応に向けた取組を検討する。 「物忘れ外来」等で認知症治療の充実を図っていくことについては継続。認知症疾患医療センターとの連携、診療体制強化に向けて検討した。
	認知症疾患医療センターと共催の講演会の実施等	同左 市民向け講演会 平川病院1回（多職種連携） 稲城台病院1回（認知症ミニ講座）
	認知症家族への相談会や家族会の実施	地域包括支援センターへ委託し実施 年間31回、210人参加
	認知症疾患医療センター、認知症地域支援推進員（認知症支援コーディネーター）及び関係機関との連携、認知症ケアパスの活用	<ul style="list-style-type: none"> ●関係機関と連携しケアパスを作成する ●認知症施策説明会を実施する ●認知症支援コーディネーター通信発行 平成30年3月ケアパス改訂 認知症支援コーディネーター通信「梨の花だより」（第4号平成29年7月発行、第5号平成30年1月発行）

VII. 市内における地域医療連携機能の強化		
今後の課題方向性	取組状況	
	目標	平成29年度 実績（進捗状況）
★病診連携及び在宅医療介護連携の推進 ★稲城市在宅医療・介護連携支援センター（いなぎ在宅医療・介護相談室）の活用	市立病院の地域連携室の更なる機能充実	地域包括ケアシステム構築に向け、スタッフの充実を図る。 看護師を複数名配置することや医療ソーシャルワーカーの充実を図っていくことについて、検討した。
	稲城市在宅医療・介護連携支援センター（いなぎ在宅医療・介護相談室）及び地域包括支援センターの周知	<ul style="list-style-type: none"> ●相談事業を週3回実施する ●介護予防特集号、包括便りの発行 相談事業を週3回実施（相談件数63件） 広報いなぎ特集号を12月1日に発行 包括便りを各包括で4号ずつ発行
	医療・介護関係者の研修実施	研修検討部会により研修内容を検討し実施する。 医療職向け研修 1回 介護職向け研修 1回 多職種連携研修会 1回 実施 研修検討部会の開催（3回開催）（再掲） 平成29年9月25日 第1回研修会（対象：医療職、介護職等） 同年11月19日 多職種連携研修会 平成30年2月23日 第2回研修会（対象：医療職、介護職）